

# スマートシティ構想策定を

岡本理事 ▲構想策定は予定していない

無所属  
香田 永明



▲安全・安心なまちを目指したスマートシティ

**問** スマートシティの目的は、利用者に対して、安全・安心で快適性や利便性の高い社会サービスを提供することであると考えるが、播磨町行政で町長が考えるスマートシティとは。

**答** スマートシティとはICTなどの先端技術を活用し、地域が抱える課題を解決するとともに、安全・安心で快適性や利便性の高い社会サービスが提供される、持続可能なまちづくりを進めるものであると考える。また、

**問** スマートシティの担当部署はどこか。また、検討・取り組み状況は。

**答** スマートシティの推進担当は企画グループで、東播磨スマートシティ推進協議会に出席し、意見交換などを行っている。また、県が開催するワーキンググループにも参加し、AIなどの導入に向けて、調査・研究を進めている。

**問** 加古川市は市のさまざまな課題について、市民とともに解決する「市民中心の課題解決型スマートシティ」を目指してスマートシティ構想を本年3月に策定している。本町の策定の考えは。

**答** 町別のスマートシティ構想は、現在のところ策定の予定はない。第5次播磨町総合計画において、持続可能な行政運営を進めていく中で、先進的なデジタルテクノロジーを活用することで、利便性の高い住民サービスの提供に努めることを目標として取り組んでいる。

町議会は、まちの予算や身近な問題について話し合う大切な場です。次回定例会の予定をお知らせします。

### 【12月定例会の日程】

▶日時 12月7日(火)・14日(火)・15日(水) いずれも午前10時～  
(14～15日は一般質問の予定ですが、一般質問者数などによって変更になる場合があります)

▶場所 第1庁舎3階 議場 ※車いすの方も昇降機により入場し、傍聴していただけます。

▶請願・陳情の締め切り 12月定例会で取り扱う請願と陳情の締め切りは、11月29日(月)午後5時までです。  
\*当日は、インターネットで本会議の生中継を行います。過去の映像は常時放映中です。  
町議会のホームページから「議会中継」を選びクリックしてください。

傍聴される方へのお願い(新型コロナウイルス対応)  
傍聴を希望される場合は次のことにご協力をお願いします。

- ・発熱、せきやのどの痛みがあるなど、体調不良の方は傍聴をご遠慮ください。
- ・議場に入られる際は、入り口に設置してある消毒液で、手の消毒をしてください。
- ・傍聴の際は、マスクを着用ください。

感染症拡大の防止および皆さまの健康を守る観点から、ご理解とご協力をお願いいたします。

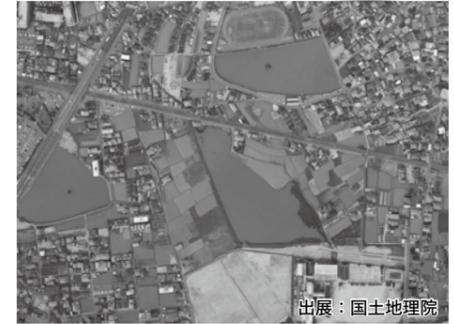
●問い合わせ 議会事務局 ☎079-435-2387 (Eメール gikai@town.harima.lg.jp)



# 市街地農地の保全是

町長 ▲個々の所有者の判断

新政会  
神吉 史久



▲農地が激減する前の2009年の大池周辺

**問** 市街化区域の農地は雨水対策や防災機能、身近な緑地空間として存在意義が全国的に見直され、播磨町でも「宅地化すべきもの」から「あるべきもの」として、町の環境財として見直し、農地の保全活用を検討するところまで来た。しかし、ここ数年農地の宅地化が急激に進んでいる。豊かな住環境のために農地は必要なものだと考えるが、この現状に対する認識は。

**答** 市街化区域の農地は景観、環境、防災と多面的な側面があり、守り活

**問** 緑の基本計画策定から4年経過しているが、他の取り組みはないのか。

**答** 播磨町、播磨町漁業協同組合、J A兵庫南、播磨町商工会と4者協定を結んで、庁舎での朝市なども行っている。

今後は、レクリエーション農園の支援も予定しており、できる限りのことをしている。

かすものと位置付けている。緑豊かな住環境を守る上で、必要に応じて保全を図る検討が必要である。しかし、農地は個人の所有するものであり、それぞれの考えがある。

**問** 平成29年3月策定の緑の基本計画で農地の保全活用を検討するとあるが、どのような取り組みを行ったのか。

**答** 休耕田などの有効活用と農地の景観美化促進を図るため、本年度より景観作物を栽培する農業者に助成金を交付している。交付件数は数件である。

# 水道料金改定の住民説明会は

高見理事 ▲現時点では予定していない

新政会  
奥田 俊則



▲値上げが想定される水道料金

**問** 上下水道運営委員会において、水道料金の改正案の検討が進められている。料金改定の条例案を議会に上程するまでに、住民への説明が必要と考えるが、説明会の開催は。

**答** コロナ禍において、人を集めて説明会を開催するのは困難であり、現時点では予定していない。

**問** 老朽施設の更新については、起債なども含めて考えるべきでは。

**答** 水道事業経営戦略では、財源確保の方策として企業債の発行を掲げており、令和元年度から借り入れを再開している。

**問** 基本構想における土地全体のゾーニングは。

**答** 東部コミュニティセンター整備基本構想の作成に着手しており、課題の整理完了後、土地利用を決定する予定である。

**問** プロジェクトチームを立ち上げる考えは。

**答** プロジェクトチームを立ち上げる予定はないが、庁議メンバー、関係グループ統括などによる検討会議を開催している。

**問** 建設にあたり、接道を確認する必要がある。現在検討中である。

**問** 大池広場は、地元財産区が町に無償譲渡し、より良い活用を町に要望した。町は、東部コミュニティセンターの移転用地として活用する基本構想を作成している。道路に接していない敷地に建設はできないが、道路についての考え方は。

**答** 建設にあたり、接道を確認する必要がある。現在検討中である。

大池広場への道路整備は  
武田 接道確保の必要がある